

経営比較分析表（令和5年度決算）

岐阜県 輪之内町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	86.04	102.80	3,300

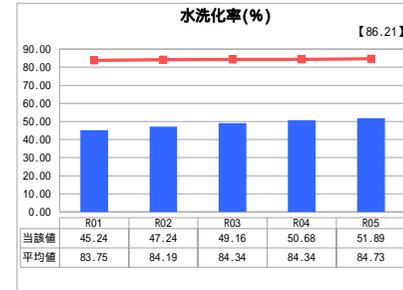
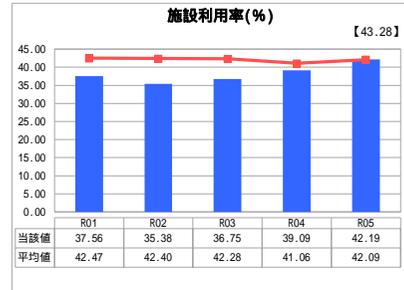
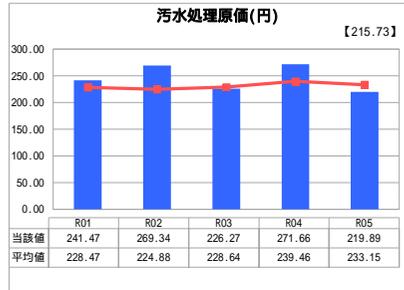
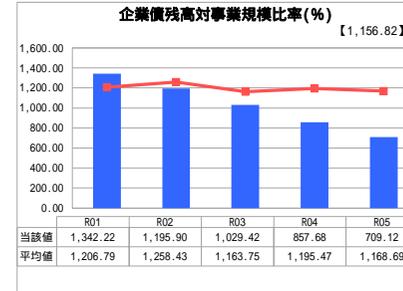
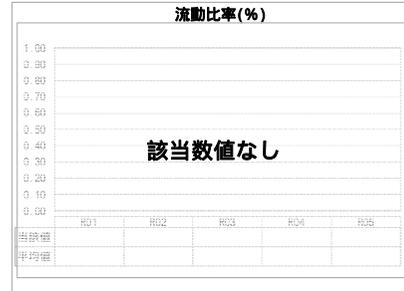
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,267	22.33	415.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,916	3.66	2,162.84

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

輪之内町の下水道事業は、収益的収支比率において各年の維持修繕費に左右されるところが大きいですが、総じて健全化の方向に向かっている。また地方債償還金を加味すると赤字となるが、一般会計からの繰入金により経営を賄っている状況である。水洗化率は類似団体平均値より低い水準にある。R3年度に面整備が完了し、今後は接続率に向上に向けて取り組んでいく。経費回収率は、維持修繕費に左右されるものの使用料収入の増加により改善傾向にある。更なる改善に向けて、汲み取り及び単独浄化槽利用者への個別訪問を行い、接続率の向上を図っていく。

2. 老朽化の状況について

管路施設はH10以降布設のため、経過年度も浅く良好な状況である。処理場施設は完成後20年が経過し設備によっては老朽化が進んでいるため、ストックマネジメント計画に基づいた効率的な維持修繕を行っていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

当町では、水質保全と下水道経営の安定化に取り組み、効率的な維持修繕・改善更新と下水道接続率の向上に取り組む良好な下水道事業を進めていく。

法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均値を表示していません。